

組合員各位

新型コロナウイルス感染拡大防止への学習塾の対応について 第 68 報

全国学習塾協同組合 理事長 森 貞孝

21 道府県のまん延防止等重点措置のうち 16 道府県を 3 月 6 日まで延長へ

まん延防止等重点措置を 21 日から 3 月 6 日まで延長する道府県

北海道・青森・福島・栃木・茨城・長野・静岡・石川・京都・大阪・兵庫・岡山・福岡・佐賀・鹿児島・広島
27 日に期限を迎える和歌山も 3 月 6 日まで延長へ

和歌山

まん延防止等重点措置をすでに 3 月 6 日までとしている都県

東京・神奈川・千葉・埼玉・群馬・新潟・愛知・岐阜・三重・香川・長崎・熊本・宮崎・高知

まん延防止等重点措置を 20 日で解除する県

山形・島根・山口・大分・沖縄

現在の情勢

1. 1 月 26 日には 33 の都道府県で、過去最多を更新した。
2. 全国の感染者数が昨年 8 月の 25800 人台の 4 倍、2 月 5 日 100,949 人と過去最多になった。
3. 若者・低年齢層に感染が移り、この層はワクチンの接種率が低い。また無症状・軽症者が出歩くことで、感染の拡大が止まらない。
4. 1 月 26 日現在、公立学校の休校は 1114 校、学年閉鎖・学級閉鎖をしている学校は 4727 校に上っている。
5. 重症者は少ないが、病床のひっ迫度合いが加わった。重症者は年初の 20 倍に増え、高齢者の割合が大きくなった。
6. 重症化しないと軽く考えているケースで、どんどん広がって家庭内・職場・学校・学習塾などでクラスターが発生している。ヨーロッパではオミクロン株の一種ステルスオミクロン(BA2)が猛威を振るい始めたという情報もある。
7. 政府は、オミクロン株のピークは過ぎたとの認識はあるものの、オミクロン株の亜種(BA2)などに対する警戒を強めている。
8. 死者数が急増しているが 90%以上は 70 歳以上の高齢者で占められている。

世界の情勢

世界の新型コロナウイルス感染者数はジョンズ・ホプキンス大学の集計によれば 2 月 18 日現在感染者数 4 億 1930 万人、死者 586 万人に達した。死者数は大幅に減少してきている。感染のピークが過ぎた国と感染が拡大し続けている国とが混在している。イギリスやインドでは規制緩和が進んでいるが、依然として収束の気配は見えていない。

日本の情勢

12月末コロナの感染者が下げ止まりからやや増加傾向になり、オミクロン株の市中感染が少しずつ見つかってから僅か半月で様相が一変した。激しい第六波は前週の数倍という信じられないスピードで日本全国に広がり始めた。かかっても無症状や軽症で終わるケースが圧倒的に多いが、そのため保育園、学校や学習塾内で感染が拡大し、家庭へ持ち帰って家族間感染、高齢者への感染が起こっている。塾や学童保育などが感染拡大の温床にならないよう徹底した注意が必要だ。2月に入って感染拡大はピークを迎え、拡大の幅が低くなり始めた。2月17日岸田総理は感染の拡大は峠を越したが、今後の再拡大に警戒をしつつ、入国者数など来月1日から緩和することを発表した。

レベル4 (避けたい)	一般医療大きく制限も コロナ医療対応できず	地域超えた病床調整 「災害医療」の対応
レベル3 (対策強化)	一般医療の相当な制限 従来のステージⅢとⅣ	大都市で緊急事態宣言 飲食店・イベント制限
レベル2 (警戒強化)	感染者増加傾向 病床増で適切に対応	保健所の体制強化・ 病床確保を段階的に
レベル1 (維持すべき)	感染者いても 安定して医療対応	日常生活の回復可能
レベル0	感染者無し	ワクチン・基本的対策

レベル判断のための指標

ステージ1	感染ゼロ散発段階	感染者が散発的に発生
ステージ2	感染漸増段階	感染者が徐々に増加・医療提供体制への負荷が蓄積
ステージ3	感染急増段階	感染者数が急増・医療提供体制に支障
ステージ4	感染爆発段階	爆発的な感染拡大が起き医療提供体制が機能不全に

新規感染者数(令和4年1月～)感染者数の多い都道府県(単位:人)

	1日	5日	10日	15日	20日	25日	1日	5日	10日	15日
北海道	23	34	106	695	1437	1536	2660	4046	4097	2282
群馬県	21	24	85	319	612	967	1172	1172	842	1045
東京都	79	390	871	4561	8638	12813	14445	21122	18891	15525
神奈川県	20	93	518	1538	3344	4130	7459	9097	8681	7207
千葉県	13	69	255	945	1596	3250	3489	4716	6604	4734
埼玉県	14	82	292	1173	2452	3166	4565	7358	5944	4733
静岡県	3	27	89	488	1050	1336	1515	2069	1828	1610
愛知県	14	73	241	1480	3074	4120	5751	6445	6122	6662
京都府	17	91	126	725	1320	1622	1951	2649	2982	1341
大阪府	70	244	499	3692	5933	8612	11881	10918	12828	12597
兵庫県	19	59	167	1188	2481	3353	4944	5855	6567	4972
広島県	21	137	672	1212	1569	1099	1056	1277	1008	922
福岡県	18	46	212	1098	2224	3386	4509	5607	4656	3886
沖縄県	52	623	779	1829	1309	1175	715	671	699	721
日本全体	535	2638	6438	25630	46199	62599	81655	100949	99694	84221
重症者数	51	60	90	233	287	444	804	1099	1270	1403
重症率(%)	9.5	2.3	1.4	0.9	0.6	0.7	1.0	1.1	1.2	1.6
死者数			2	6	9	42	70	112	164	236

塾としての対応

1. 発熱・体調不良の講師は、必ず休ませる。
2. 指導生徒の発熱・体調不良の場合、絶対教室には入れない。
3. 手洗い・マスク・換気・消毒等徹底させる。
4. 生徒のワクチン注射は塾として柔軟に対応する。
5. 政府のマスク無料配布は配布予定数 8000 万枚に対して 2 億 8000 万枚もの応募があった。調整して 3 月から配布予定。
6. 学校では、複数の生徒が陽性の場合、学級閉鎖。複数の学級が学級閉鎖なら休校の基準。
7. 濃厚接触者については、あまりにも数が多いため、チェックしていないので、各塾では生徒間での感染・接触について厳重に注意すること。
8. 生徒が、塾以外に通ったりしているところを調査し、そのうちのどこかで感染が起こったなどといった情報をキャッチして自塾内でクラスターが起こらないように注意したい。
9. 現在感染の中心が若い人になってきている。そして学校や学習塾、保育園などでクラスターが発生している。塾や学童保育がクラスターの発生源になり始めていることに危機感を感じる。コロナが収束しても、あの塾で集団感染が起きたと口コミでいつまでも言われたいよう、安心して通える塾だと信頼されるような衛生管理及び迅速な対応と保護者への的確な連絡が必要だと考えている。